

(憲法共同センター) 2018年8月 憲法宣伝スポット

皆さん、こんにちは。

私たちは、労働組合や女性・業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法のじゅうりんを許さず、憲法を守り、生かそうととりくんでいる、「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。

安倍政権は、「戦争の放棄」や「戦力の不保持」などを定めた憲法9条に自衛隊を明記する改憲を狙っています。これは、自衛隊が海外での武力行使を可能にするもので、日本の平和にとっても大変危険な策動です。

「自衛隊が憲法違反と言われてかわいそう」との声も多く聞かれます。しかし、今の自衛隊は高額な戦闘機や近代兵器を米国から購入し、敵地に侵攻し制圧する火力と機動力をもつようになりました。米軍との共同訓練も頻繁に実施し、「専守防衛」から「先制攻撃」する組織へと変わりつつあります。これではまるで軍隊であり、憲法9条の理念とは相いれないものです。

私たちは、各地で発生している災害時に、被災者を救出し、復興に尽力する自衛隊員の活躍には敬意を払うものです。しかし、米国主導の戦争に巻き込まれ、国防とは無縁の戦闘で自衛隊員が命を落とすことに、全力を挙げて反対します。

私たちは、自衛隊は憲法と矛盾するとの立場ですが、すでに半世紀にわたって国民と自衛隊はともに生活してきたことも事実です。憲法と自衛隊との矛盾を解決するには、やはり、国民の合意というものが何よりも大事になるのではないのでしょうか。

皆さん、世界は大きく動いています。6月12日に史上初の米朝首脳会談が開催され、朝鮮半島の非核化と平和への大きな一歩が刻まれました。いま、日本政府に求められるのは、憲法9条を生かして、朝鮮半島と北東アジアの非核化を実現する先頭に立つことではないのでしょうか。そのためにも、安倍首相が狙う憲法への自衛隊明記、戦争する国づくりをすすめる9条改憲を絶対に止めなければなりません。

全国市民アクションが呼びかけている「安倍政権による9条改憲に反対する3000万人署名」は、いま、1500万人を超え、広がり続けています。3000万人の署名を達成して、改憲をストップさせましょう。皆さんのご協力をお願いします。

朝鮮半島と北東アジアの非核化と平和を実現するためには、昨年、国連で成立した核兵器禁止条約を日本政府に調印させることは焦眉の課題です。

この間、安倍9条改憲反対など多くの課題で、市民と野党の共同が発展し、安倍政権を追い詰めてきました。改憲をのぞむ政党が多数をしめる国会で、憲法議論を行う憲法審査会は、先の通常国会で、衆議院では、たった2回わずか6分しか開かれず、議論は進みませんでした。しかし、秋の臨時国会には、改憲案を持ち出す危険があります。野党共闘をさらに発展させて、悪政に対抗する大きな力とするために、私たち市民の運動を強めることが重要です。市民と野党の共闘を推し進めて、安倍政権の退陣を実現するために、ご一緒に声を上げましょう。

以上